様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	227・育鵬社	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・735	中学社会　新しい日本の歴史
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　歴史のとらえ方に関する内容 　小学校で学習した歴史上の人物について情報をカードにまとめて整理したり、身近な地域についてテーマを設けて調査したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　古代までの日本に関する内容 　世界の古代文明について共通する特色を整理したり、旧石器時代と新石器時代について人々の生活の変化の様子をまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　中世の日本に関する内容 　鎌倉幕府の仕組みと古代の律令政治の仕組みを比較して違いについて整理したり、室町文化の中で現在の暮らしに生きているものをまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近世の日本に関する内容 　織田信長と豊臣秀吉の政治について指定された語句を使ってまとめたり、化政文化の特色を文学、俳諧、芸術、美術の代表的な人物をあげて説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近代の日本と世界に関する内容 　ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後にロシア、ヨーロッパ、アメリカの様子から世界はどのように変わったのかを説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　現代の日本と世界に関する内容 　高度経済成長による日本の経済や国民生活の変化について説明したり、冷戦後の地域紛争の様子とグローバル化の進展について説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　「学習のまとめ」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、キャッチフレーズにまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを話し合ったりするなど、知識・技能を活用する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　歴史のとらえ方において、歴史の学び方を学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 　「歴史のとらえ方」は8 ページ「古代までの日本」は、52ページ、「中世の日本」は32ページ、「近世の日本」は54ページ、「近代の日本と世界」は98ページ、「現代の日本と世界」は33ページであり、総ページ数は277ページで、前回より約11%増となっている。			
使用上の配慮等	○　アイヌの人たちの歴史や文化について、「アイヌ・オムシャ」の図版を取り上げたり、江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「屯田兵による開拓」の図版を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○「課題学習」において、調査の仕方やまとめ方を提示したり、「歴史にズームイン」においては、学習を広げ深める課題を提示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できるよう、中国、朝鮮、西洋の時代区分の項目を位置付けた年表を掲載するとともに、学習を深めることができるよう、巻頭に「日本の美」、巻末に「各地の主な遺跡・史跡」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、振り仮名をゴシック体にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について 8 箇所、北方領土について 8 ページが取り上げられている。 ○　東京裁判に関する複数の異なる見方を提示し、我が国の郷土の現状と歴史について正しく理解できるよう工夫がなされている。 ○　太平洋戦争末期の沖縄の様子、作家の様々な思いなどを記すことで、我が国と郷土の現状と歴史について正しく理解できるよう工夫がなされている。			